

テーマ

「夏の名残」

8月31日



①イガナス

(徳島県産)

一般的にはチョウセンアサガオとも呼ばれており、実は周りに鋭いトゲが密集するユニークな造形が特徴です。かつては麻酔薬としても使用されており、実や葉、種子にも毒を含むことから、美しい花と香りの裏に、人を惑わす強い毒性を持つことが、花言葉の由来です。

花言葉：偽りの魅力 夢の中 変装

②ケイトウ (アクトベルベ)

(佐賀県産)

暖かみのある質感と発色の良いグリーンケイトウ。アクトシリーズのケイトウは安定した花茎から大きな花を咲かせるのが特徴の品種であり、開花しながら成長しボリュームが増していきます。

花言葉：おもむくままに おしゃれ

③ケイトウ (アクトジバ)

(佐賀県産)

同じくアクトシリーズで発色のよい鮮やかさのあるピンクケイトウ。他の緑色の花材の中心にピンクのケイトウが入ることで、緑と赤のコントラストによって全体が調和した作品です。

花言葉：色褪せぬ恋 おしゃれ

④丁子草 (チョウジソウ)

(兵庫県産)

初夏に淡いブルーの小さな星形の花を開花させる宿根草です。丁子草の花は丸みがなく平べったい形をしているため、横から見ると「丁」の字に見えることが名前の由来です。

花言葉：威厳 上品な優雅さ

⑤利休草 (リキュウソウ)

(和歌山県産)

ブライダルブーケやウェディング装飾において、グリーン素材として、重宝される花材です。長く伸びる蔓と特徴的な葉の形を生かしてアレンジメントに動きを演出したり、鮮やかな緑色が、他の花を引き立たせるのが得意な花材です。

花言葉：奥ゆかしさ